

有害外来植物の特徴・駆除方法

ブタクサ・オオブタクサ

1 特徴

- ・キク科の1年生草本

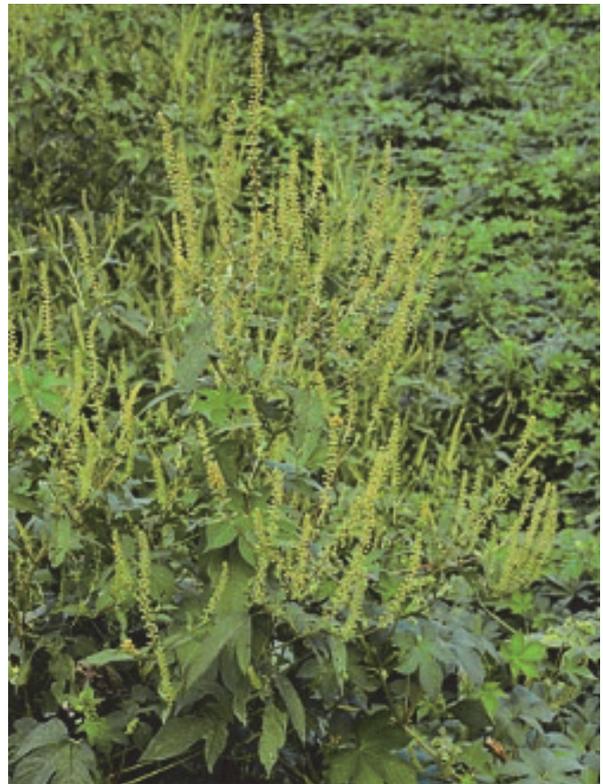
ブタクサ

- ・茎の高さは30～150cm
- ・葉は細かい切れ込みが入っている
- ・花は黄色で、茎の先に数ミリの小さな花が密生して穂状になる（雄花）
- ・生育場所 河川敷、林縁、畑地、樹園地、荒地、路傍等



オオブタクサ

- ・茎の高さは50cm～300cm
- ・葉は手のひら状で3～5裂しており、桑の葉に似ている
- ・花は黄色で、茎の先に数ミリの小さな花が密生して穂状になる（雄花）
- ・生育場所 河川敷、林縁、畑地、樹園地、荒地、路傍等



2 どんな被害を引き起こすのか

- ・花粉を大量に放出し、花粉症の原因となる
- ・固有の在来植物の減少を招く

3 開花の時期

9月から10月

4 駆除方法

- ①抜き取り（根絶を目指す 1年草のため根が浅く確実に駆除できる）
 - ・スコップ等で根ごと抜き取る
- ②刈り払い（抑える、増やさない 広範囲を防除したい場合に適する）
 - ・刈払機等で地上部を刈り取る 開花・結実を抑制できる